

やわらぎ会通信 Vol.51

今年も暑い夏となりましたね。夏バテなどしていませんか？

空を見渡すと、山の上に入道雲がむくむと湧き上がっています。空の雲をみても季節の移り変わりを感じます。今年の夏は大気が不安定なことが多く、灰色の今にも雷が聞こえてきそうな雲をよく見たように思います。実際雷も多かったですね。全国的にも落雷のニュースをよく聞きました。そんな夏もそろそろおしまい。うろこ雲がみられるのはいつごろでしょうか。



やわらぎ会の 3つの安心

やわらぎ会の3つの安心をご存知ですか？

- ①夜遅くまで、日曜日でも診療しているので安心
- ②治療計画が、いろいろと選べるので安心
- ③カルテ・レセプトを本人に公開しているので安心

数年前に厚生労働省が歯科医療に対する要望についてアンケート調査を行いました。その結果歯科医療に対して「要望がある」者は76.6%でした。これを要望の内容別に見ると...

「夜間や休日でも治療をうけられるようにしてほしい」が40.9%と最も多く、次いで

「保険の範囲を拡げてほしい」35.8%

「なるべく待たせないようにしてほしい」22.5%

「診療回数を減らしてほしい」22.5%となっています。皆様も同感の事と思います。

やわらぎ会歯科診療所では、これらの要望に出来るだけお応えすることが、患者様に対するサービスにつながると考えました。それで①夜遅くまで、日曜日でも診療しようとみんなで決めました。また治療費を出来るだけ合理的に、またその予算を有効に活用していただく目的で②保険治療や自由診療の治療計画を立てて、よく説明をしようと決めました。治療計画を立てますと当然治療回数は少なくすすみます。③治療内容を記したカルテやレセプトは、4年前からご本人に公開しています。その他にも患者様のお口に入る器具はすべて滅菌処理をしています。またエプロン・ヘッドレストカバー・手袋・紙コップなどは一回限りの使い捨てのディスポーザブルタイプを採用しております。

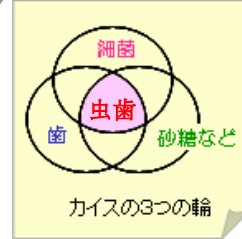
これからもより多くの「安心」を感じていただけるよう、スタッフ一同努力していくつもりです。

どうぞご安心のうえ治療をお受け下さい。

理事長 藤田和也



(新年号から虫歯予防について毎月違った内容で掲載しています)



虫歯予防のポイント

細菌の輪、砂糖の輪を小さくすること
歯の質を強くすること

耳より
コーナー



((((((((
)oθ(
(o ((

キシリトールガムを咬むタイミングは？

キシリトールガムを買っては見たものの、何時どのくらい咬んでいいのかわからない方もいらっしゃるでしょう。ガムの包みには一度に食べ過ぎるとおなかゆるくなる場合がありますなんて書いてあるし...

どうぞ右の表を参考にしてみてください。

う蝕予防効果を引き出すキシリトールの摂取回数			
通常	朝食後	昼食後	夕食後
カリエスリスクの高い方	朝食後	昼食後	間食後 夕食後 寝る前
摂取時間	5~10分		
*キシリトール100%使用、1回につき1.5g			

(日本フィンランドむし歯予防研究会より抜粋)



夏の思い出 ♪夏が来れば思い出す...

注『エデンの東』ではありません

私は海の近く(昔『エデンの海』という日本映画の舞台ともなったところ)で育ったので、夏といえば“海”です。こどもの頃は、家から水着を着て、友達と連れ立って海に行っていました。新学期が始まってもまだ海に行っていました。泳ぎに行くというより遊びに行くという感覚でした。

海ではもちろん泳ぎました。よく泳ぎました。浮き輪も付けず、沖にあるブイ(回遊区域の印)まで行きそのあたりで遊びました。足の届くあたりでは、逆立ちしたり(今ならシンクロごっこなんて名づけたでしょうか)、宝探しと称して海底の石を拾ってきたり、また水くらはげは一体何匹キャッチボールされたことでしょうか(殺生をしておめんなさい)。宝探しでもぐったとき、イカを見つけたときは感動したことを今も覚えています。

悲しいことに、ここ何年かは海水浴に行けず夏が終わっています。このトシであの頃のような遊び方をすると、きっと周りのヒンシュクをかうことでしょう。今年も海に行くことなく夏が終わりました。来年こそは(水着を着れるうちに)...とベランダから見える海を眺めて思うのでした。(下野)



※同封していますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成17年7月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には同封されていません。また患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールでどうぞ。メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成17年 8月20日号
編集発行人 藤田 和也
編集者 下野 あゆみ